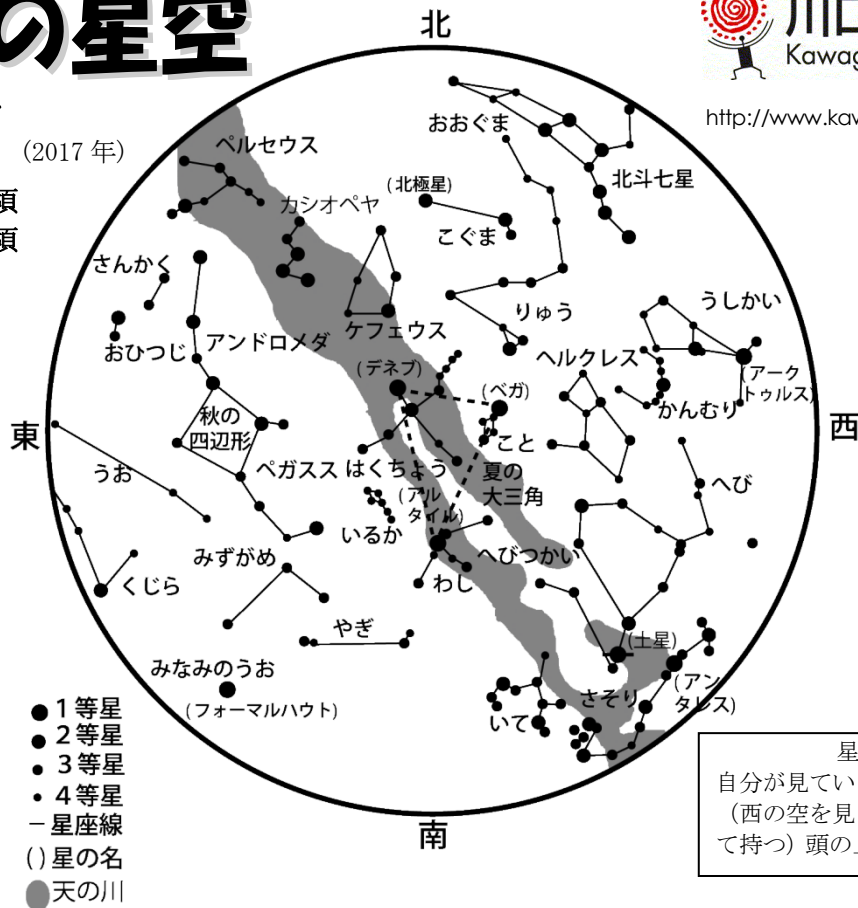


# 今月の星空

9月 (2017年)

上旬 21 時頃  
下旬 20 時頃



月 齢	○ 満月 6 日、● 下弦 13 日、● 新月 20 日、● 上弦 28 日
惑星情報	水星 明け方 東 (しし座 1 → -1 等級) (6 日から 20 日ころまで)
	金星 明け方 東 (かに座 → しし座 -4 等級)
	火星 明け方 東 (しし座 2 等級) (月末)
	木星 夕方 西 (おとめ座 -2 等級) (中旬ころまで)
	土星 夕方 南西 (へびつかい座 0 等級)

## ☆ 天頂付近に「夏の三角形」、東の空に「秋の四辺形」が見られます

天頂付近には、こと座のベガ、わし座のアルタイル、はくちょう座のデネブからなる「夏の三角形」が、東には秋の星座が見られます。

東の中ほどの高さにある、2 等星と 3 等星を結んでできる大きな四角は、「秋の四辺形」または「ペガサスの四辺形」と呼ばれています。日本ではこれを升(ます)に見立て、「ますがたぼし」と呼んでいました。

## ☆ 金星、水星とレグルスが近くに見られます (9 月中旬)

右の図のように、明け方の東の低空で、金星 (-4 等級)、水星 (0 ~ -1 等級) としし座の 1 等星レグルスが近くに見られます。明るく目立っている金星から他の星を探してみてください。18 日と 19 日には、ここに月が加わり、明け方の東の空はにぎやかになります。

※金星から他の星を探すコツ

腕をのばして、握りこぶしを縦にしたときの幅が約 10 度です。例えば、水星は金星から握りこぶし約 1 個分 (10 度) 離れているところに見られます (9 月 15 日の場合)。

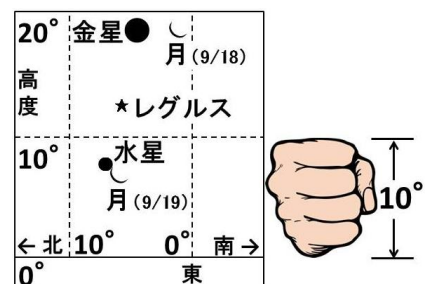


図 金星、水星とレグルスの見え方 (9 月 15 日午前 4 時 40 分)